

塩竈市震災復興計画策定に関する 市民意向調査

中間集計結果

市民意向調査の概要

1) 調査の主旨

被災した全世帯を対象に、各世帯の被災状況、避難の現状、今後の生活再建に対する意向・要望、塩竈市の復興まちづくりに対する意向・提案等を把握し、復興計画の策定に反映するためアンケート調査を実施しました。

2) 調査の方法

震災により被災した塩竈市内の全世帯の、主として世帯主(もしくは世帯のうちの1人の方)を対象として、郵送によりアンケート調査票の配布・回収を行いました。

対象者は4,854名の方で、うち、この中間集計は、平成23年7月25日到着分まで1,300名分を集計したものです。

3) 調査実施時期

- ・アンケート調査票の郵送：平成23年7月16日
- ・アンケート調査票の回収：平成23年7月26日

平成23年8月2日

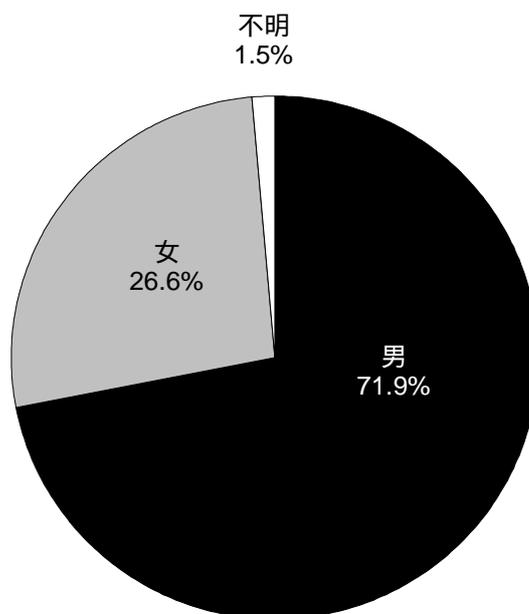
| | |
|--------------------------------|----|
| 1. 回答者属性 | 1 |
| 問 1 性別 | 1 |
| 問 2 年齢 | 2 |
| 問 3 震災前の職業 | 3 |
| 問 4 現在の復職状況 | 4 |
| 問 5 世帯の人数 | 5 |
| 問 6 高齢者の有無 | 6 |
| 問 7 震災前の住まい | 7 |
| 2. 住まいの被害状況 | 8 |
| 問 8 住まいの被害状況 | 8 |
| 問 9 現在の住まいの状況 | 9 |
| 問 10 日常生活の状況 | 10 |
| 3. 地震発生直後の避難について | 13 |
| 問 11 地震発生時にいた場所 | 13 |
| 問 12 具体的にどこにいたか | 14 |
| 問 13 大津波警報を何で知ったか | 15 |
| 問 14 避難したか | 16 |
| 問 15 避難しなかった理由 | 17 |
| 問 16 避難時の移動手段 | 18 |
| 問 18 避難時に困ったこと | 19 |
| 4. 地震発生時の家族（主な一人）の避難について | 20 |
| 問 19 記述する家族の続柄 | 20 |
| 問 20 家族は具体的にどこにいたか | 21 |
| 問 21 家族は大津波警報を何で知ったか | 22 |
| 問 22 家族は避難したか | 23 |
| 問 23 家族が避難しなかった理由 | 24 |
| 問 24 家族の避難時の移動手段 | 25 |
| 問 26 家族が避難時に困ったこと | 26 |
| 5. 今後の住まいについて | 27 |
| 問 27 今後の居住意思 | 27 |
| 問 28 今後の希望する住居形態 | 28 |
| 問 31 住み続ける理由 | 29 |
| 問 32 今後についての家族の意思統一の有無 | 30 |
| 問 33 今後必要な防災対策（複数回答） | 31 |
| 6. 今後の市の復興に向けた取り組みについて | 32 |
| 問 34 復興に向けて必要な取り組み | 32 |

1. 回答者属性

問1 性別

【問1】あなたの性別を教えてください。（印は1つだけ）

1 男 2 女

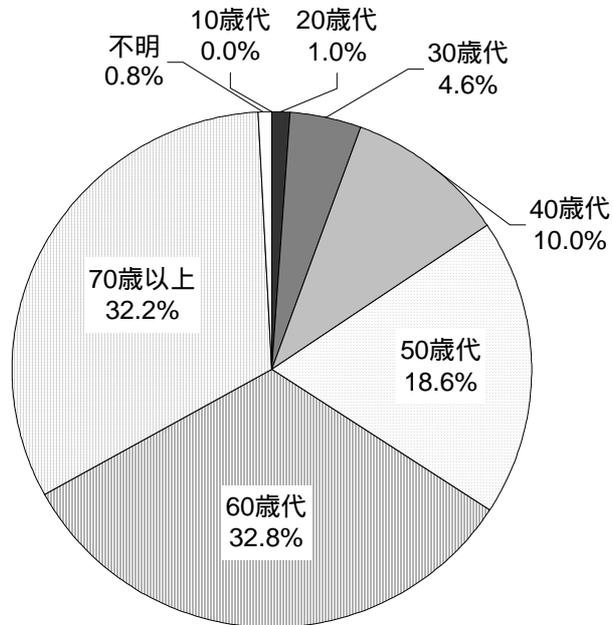


今回のアンケート調査は、被災世帯の世帯主に送付したこともあり、回答者の3/4近くが男性で、女性の占める割合は、1/4程度になっています。

問2 年齢

【問2】あなたの年齢を教えてください。（印は1つだけ）

- | | | | | | | | |
|---|------|---|------|---|-------|---|------|
| 1 | 10歳代 | 2 | 20歳代 | 3 | 30歳代 | 4 | 40歳代 |
| 5 | 50歳代 | 6 | 60歳代 | 7 | 70歳以上 | | |



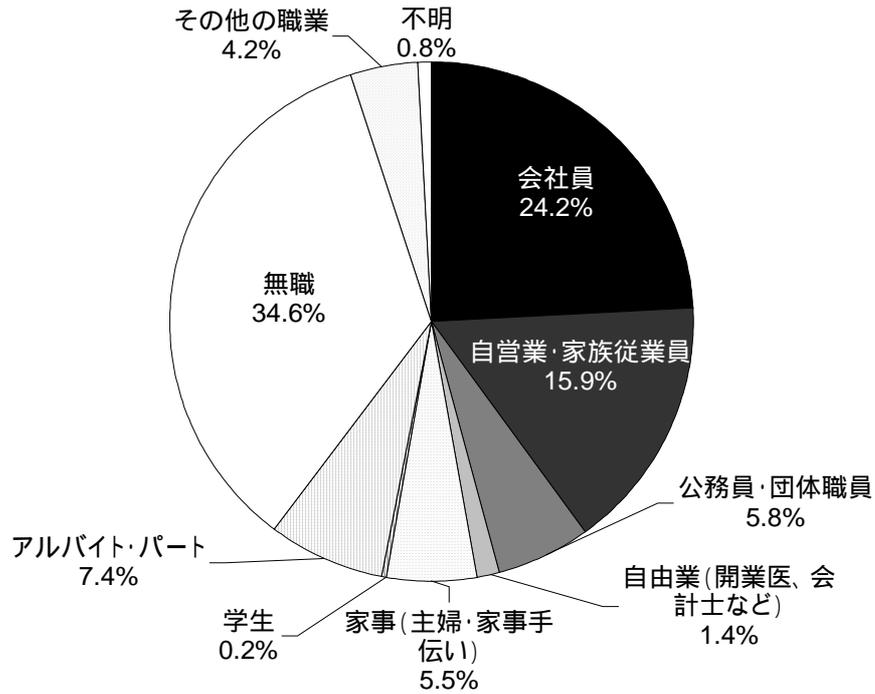
回答者の年齢は、中高年層の回答者が多くを占め、60歳代以上の方が回答者全体の約2/3を占める結果となっています。

30歳代以下の方は少数にとどまっています。

問3 震災前の職業

【問3】あなたの震災前のご職業は何ですか。（印は1つだけ）

- | | | |
|------------------|----------------|------------|
| 1 会社員 | 2 自営業・家族従業員 | 3 公務員・団体職員 |
| 4 自由業（開業医、会計士など） | 5 家事（主婦・家事手伝い） | |
| 6 学生 | 7 アルバイト・パート | 8 無職 |
| 9 その他の職業（ ） | | |

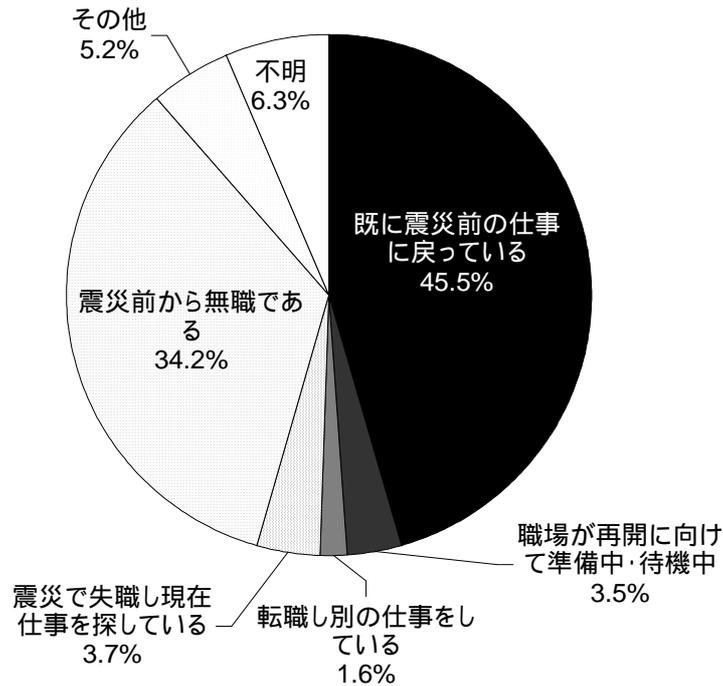


被災された世帯の世帯主の方の職業は、回答者のうちで最も多くを占めたのが「無職」で約35%、次いで、「会社員」が約24%、「自営業・家族従業員」が約16%の順になっています。

問 4 現在の復職状況

【問 4】現在、震災前の仕事に戻られていますか。（印は1つだけ）

- 1 既に震災前の仕事に戻っている
- 2 職場が再開に向けて準備中、または待機している
- 3 転職し、別の仕事をしている（具体的に)
- 4 震災で失職し、現在仕事を探している
- 5 その他（具体的に)



被災された方のうち、約半数の方が「既に震災前の仕事に戻っている」とされており、最も多くを占めています。

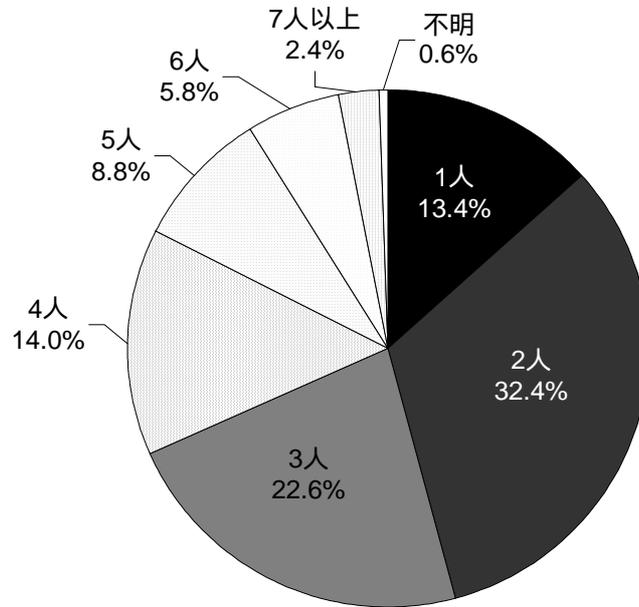
「震災前から無職である」の方も、全体の1/3超を占めています。

震災によって職や職場が影響を受け、「震災で失職し現在私語を探している」、「職場が再開に向けて準備中・待機中」、「転職し別の仕事をしている」とする方は少数にとどまっていますが、合わせると全体の10%近くの方が職に関する影響を受けたと考えられます。

問5 世帯の人数

【問5】世帯の人数は何人ですか。（印は1つだけ）

| | | | | | | | |
|---|----|---|----|---|------|---|----|
| 1 | 1人 | 2 | 2人 | 3 | 3人 | 4 | 4人 |
| 5 | 5人 | 6 | 6人 | 7 | 7人以上 | | |



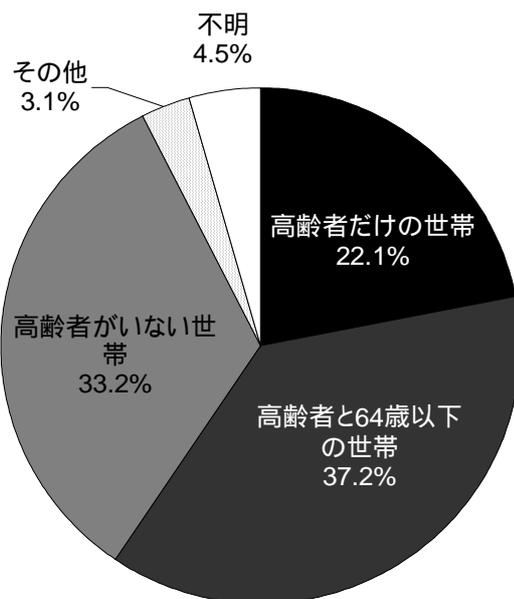
世帯人数は、2人世帯が最も多く回答者の1/3の約32%を占め、次いで、3人世帯が約23%、1人の単身世帯が約13%と続いています。

4人世帯以上の世帯人数が多い世帯は、回答者全体の約1/3となっています。

問6 高齢者の有無

【問6】あなたの世帯に65歳以上の高齢者がおられますか。（印は1つだけ）

- 1 65歳以上の高齢者だけの世帯（高齢者単身世帯、高齢者夫婦だけの世帯）
- 2 65歳以上の高齢者と64歳以下の親族等が同居する世帯
- 3 65歳以上の高齢者がいない世帯
- 4 その他（具体的に ）

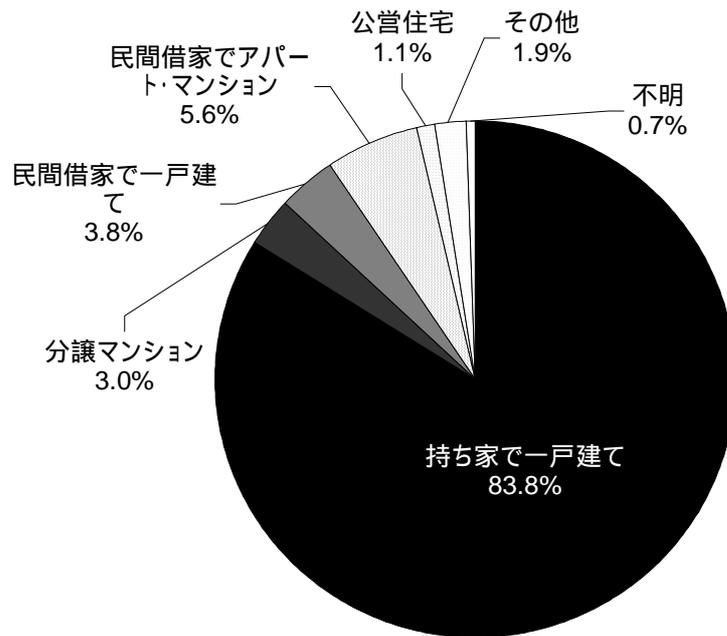


高齢者がいない世帯は、回答者全体の1/3で、高齢者と64歳以下の世帯が約37%、高齢者だけの世帯が約22%で、約60%の世帯で高齢者がおられる現状です。震災時における高齢者への対応が求められるとともに、今後の復興にあたっては、高齢者への対応が必要だと言えます。

問7 震災前の住まい

【問7】震災前のお住まいについて教えてください。（印は1つだけ）

- | | |
|-------------|---------------------|
| 1 持ち家で一戸建て | 2 マンション |
| 3 民間借家で一戸建て | 4 民間借家でアパート・賃貸マンション |
| 5 公営住宅 | |
| 6 その他（具体的に | ） |



被災世帯の回答者の震災前の住まいは、全体の約84%を占める大部分の回答者が、「持ち家で一戸建て」となっています。

2. 住まいの被害状況

問 8 住まいの被害状況

【問 8】お住まいの被害の状況について教えてください。（原因及び状況に をおつけください。）

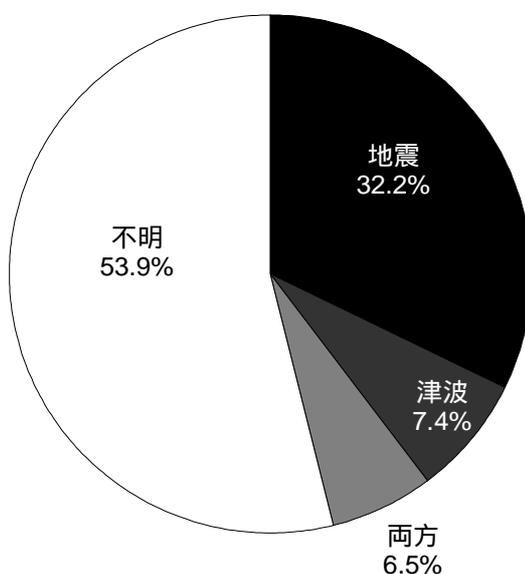
原因（地震 ・ 津波）による

1 全壊 2 大規模半壊 3 半壊 4 一部損壊

5 その他（具体的に)

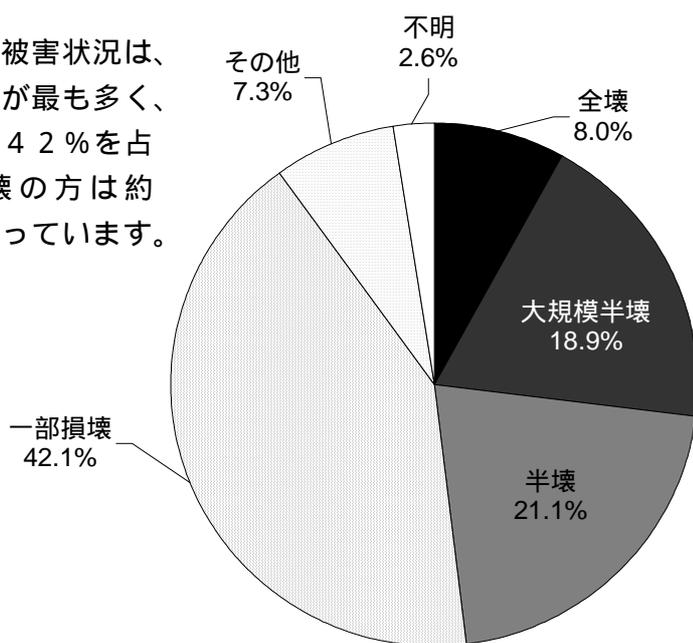
<原因>

被害の原因となったのは、地震の方が津波を上回る回答となっています。



<状況>

回答者の被害状況は、一部損壊が最も多く、全体の約42%を占め、全壊の方は約8%となっています。

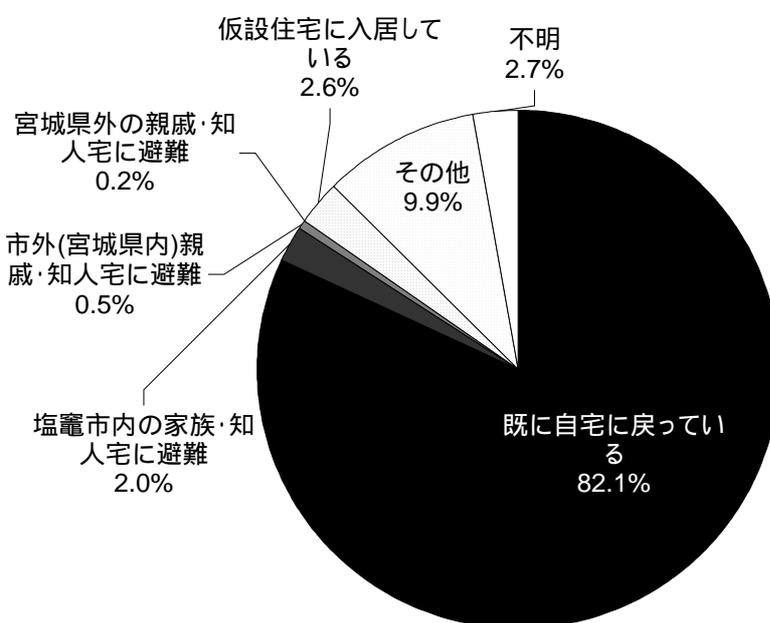


問9 現在の住まいの状況

【問9】現在のお住まいの状況についてお尋ねします。

- 1 既に自宅に戻っている
- 2 塩竈市内の家族・知人等宅に避難している
- 3 市外（宮城県内）の親戚・知人宅に避難している
- 4 宮城県外の親戚・知人宅に避難している
- 5 仮設住宅に入居している
- 6 その他（具体的に

)



現在の住まいについては、既に自宅に戻られている方が大部分となっており、約82%を占めています。

まだ自宅には戻られていない方のうち、仮設住宅に入居されている方が約3%、塩竈市内の家族・知人宅に避難されている方が約2%となっています。

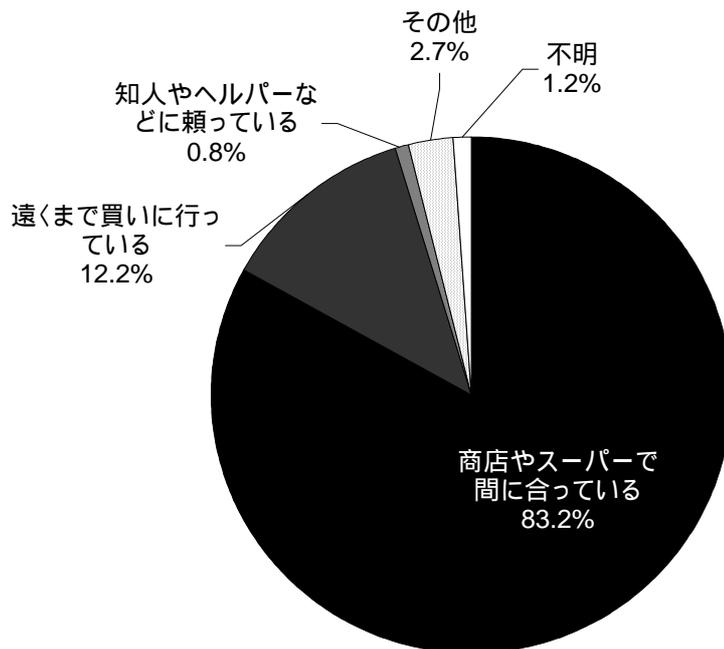
市外に避難されている方は、少数にとどまっています。

問 10 日常生活の状況

【問 10】日常生活において、買物や病院、子供さんの学校など現在どのようにされていますか。下記の項目ごとに1つだけ 印をつけてください。

買い物

- 1 近くの商店やスーパーで間に合っている
- 2 近くに商店がないので遠くまで買い物に行っている
- 3 近くに商店がないので知人やヘルパーなどに頼っている
- 4 その他（具体的に)

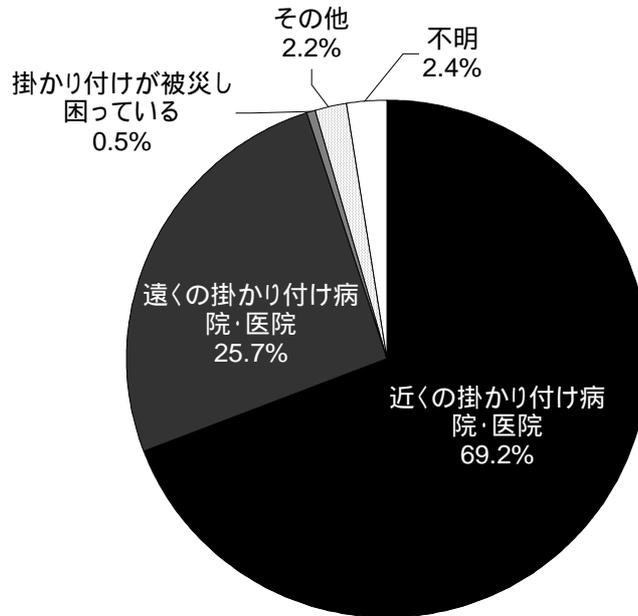


日常の買い物について、回答者の大部分の約 83%の方が「商店やスーパーで間に合っている」とされています。

一方で、「遠くまで買いに行っている」とする方が約 12%おられます。

病院

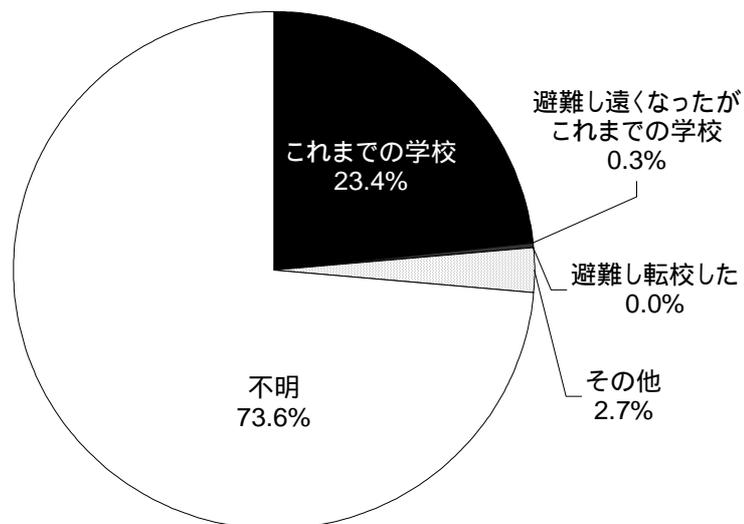
- 1 近くに掛かり付けの病院・医院がある
- 2 遠くではあるが掛かり付けの病院・医院がある
- 3 掛かり付けの病院・医院が被災したため困っている
- 4 その他（具体的に)



「近くに掛かり付けの病院がある」とする方が回答者全体の約70%、「遠くに掛かり付けの病院・医院がある」とする方が約26%と、大部分の方は、掛かり付けの病院・医院をもたれています。

学校

- 1 子供はこれまでの学校に通っている
- 2 これまでの学校に通っているが、避難して遠くなった
- 3 避難したため転校せざるを得なかった
- 4 その他（具体的に)



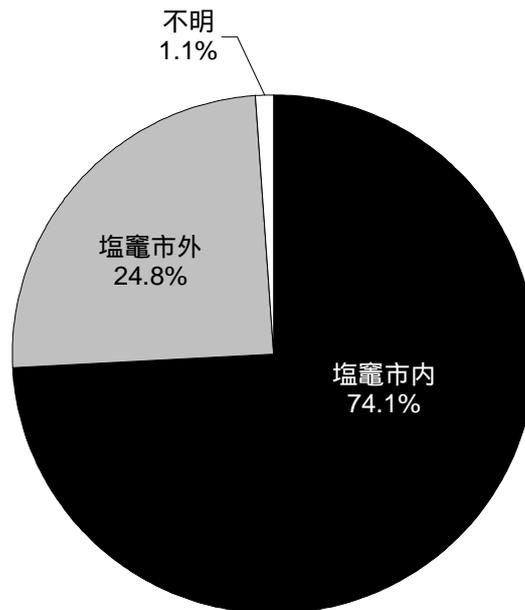
児童・生徒のいる世帯は、回答者全体のうち約 1 / 4 の世帯と想定されるが、多くの世帯で従来通り「子供はこれまでの学校に通っている」とされ、「これまでの学校に通っているが、避難して遠くなった」とする世帯は、ごく少数にとどまっています。

3.地震発生直後の避難について

問 11 地震発生時にいた場所

【問 11】震災が発生したとき、どこにおられましたか。（印は1つだけ）

1 塩竈市内 2 塩竈市外

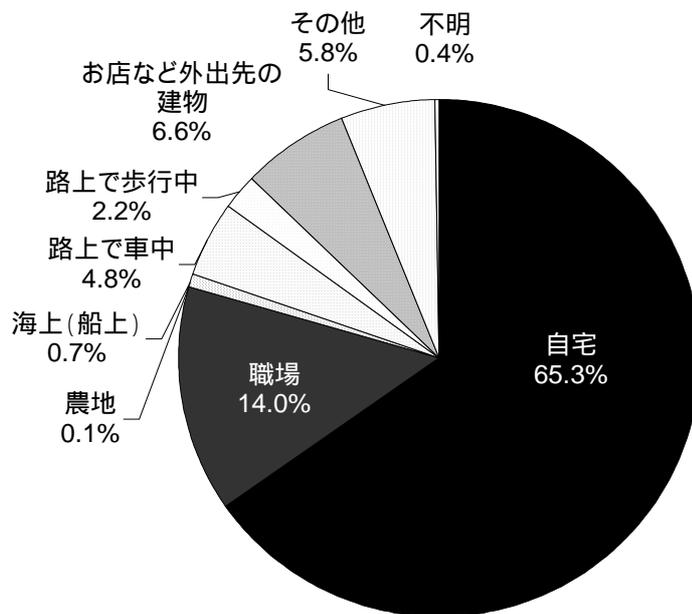


3月11日の地震の際に、塩竈市内におられた回答者の方が約3/4、塩竈市外におられた方が約1/4となっています。

問 12 具体的にどこにいたか

【問 12】問 11 で「 1 塩竈市内」とお答えいただいた方にお尋ねします。地震が発生したとき、具体的にどのような場所におられましたか。（ 印は 1 つだけ）

- | | | | | | | | | | |
|---|----------|---|------------|---|----|---|--------|---|-------|
| 1 | 自宅 | 2 | 職場 | 3 | 農地 | 4 | 海上(船上) | 5 | 路上で車中 |
| 6 | 路上で歩行中 | 7 | お店など外出先の建物 | | | | | | |
| 8 | その他(具体的に | | | | | | | |) |

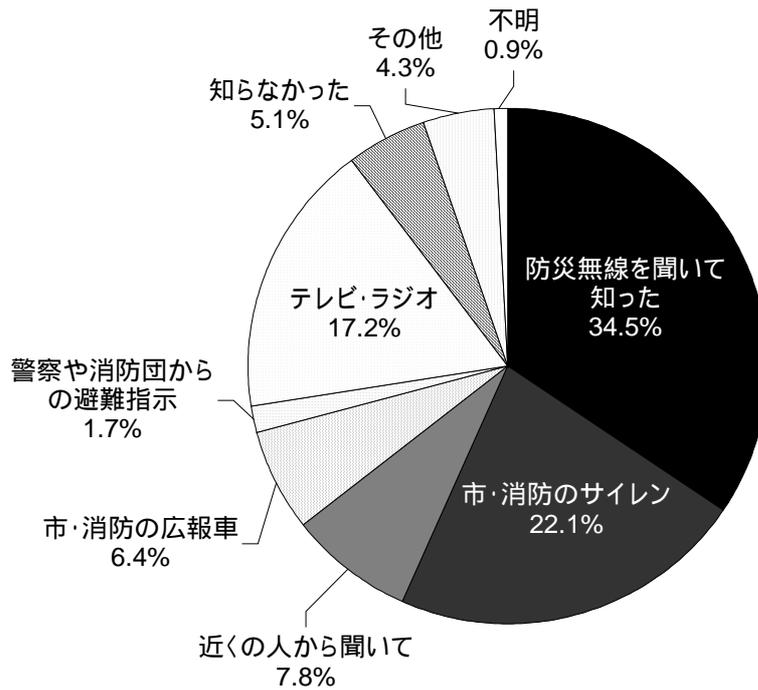


3月11日の地震時に、「自宅」におられた方が最も多く約65%、次いで「職場」におられた方が約14%となっています。

問 13 大津波警報を何で知ったか

【問 13】大津波警報を何で知りましたか。（ 印は 1 つだけ）

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 1 防災無線を聞いて知った | 2 市・消防のサイレンが鳴って知った |
| 3 近くの人から聞いて知った | 4 市・消防の広報車で知った |
| 5 警察や消防団からの避難指示を聞いて知った | |
| 6 テレビ・ラジオで知った | 7 大津波警報を知らなかった |
| 8 その他（具体的に |) |

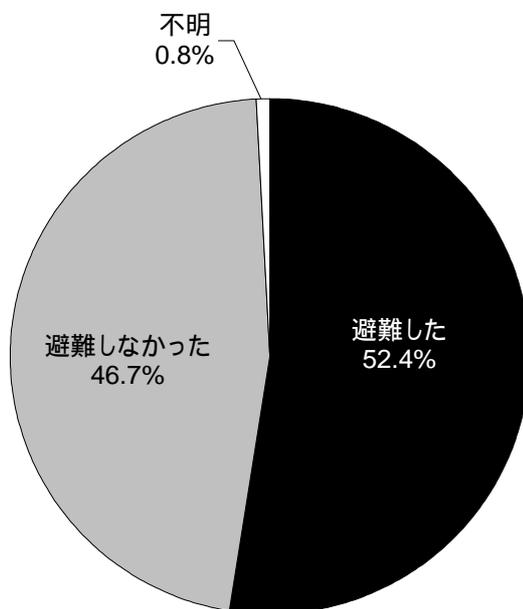


大津波警報については、「防災無線を聞いて知った」とする方が最も多く約 35% を占め、次いで、「市・消防のサイレンを聞いて知った」する方が約 22%、「テレビ・ラジオで知った」とする方が約 17% となっています。一方で、「知らなかった」とする方も約 5% おられます。

問 14 避難したか

【問 14】あなたは避難されましたか。（ 印は 1 つだけ）

1 避難した 2 避難しなかった

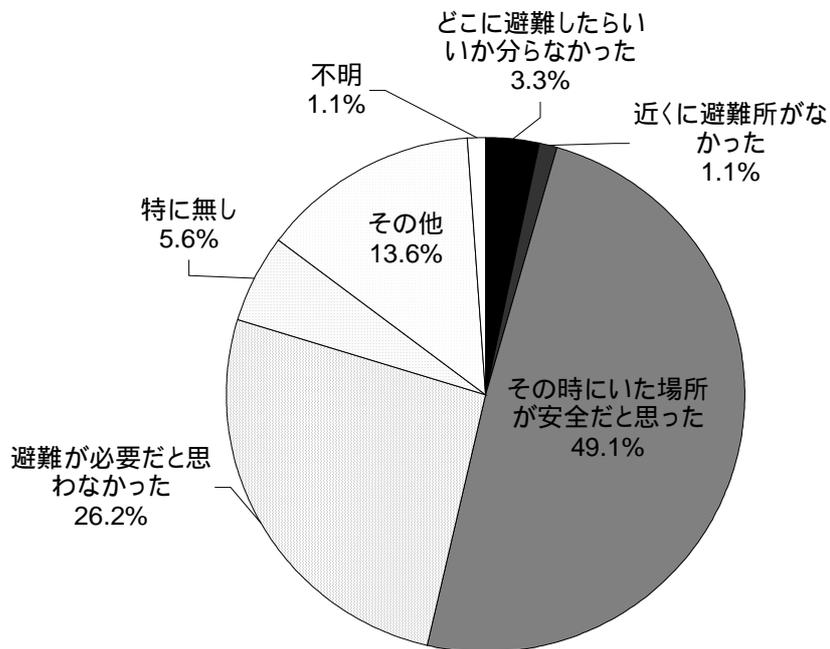


大津波警報が出た後、「避難した」とする方が約 52% となっていますが、「避難しなかった」とする方も半数近くの約 47% にのぼっています。

問 15 避難しなかった理由

【問 15】問 14 で「2 避難しなかった」とお答えいただいた方にお尋ねします。避難されなかった理由を教えてください。（ 印は1つだけ）

- 1 どこに避難したらよいかわからなかったから
- 2 近くに避難場所がなかったから
- 3 その時にいた場所が安全だと思ったから
- 4 避難が必要だとは思わなかったから
- 5 特になし
- 6 その他(具体的に)

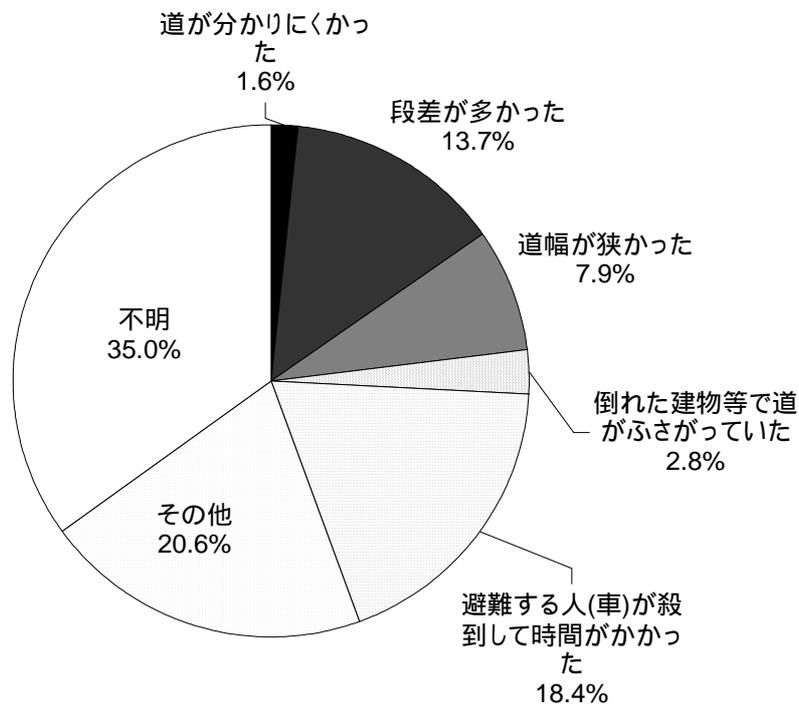


「避難しなかった」とする回答者が避難しなかった理由については、「その時にいた場所が安全だと思った」とする方が最も多く約49%を占めています。一方で、「避難が必要だと思わなかった」とする方も約26%を占めています。

問 18 避難時に困ったこと

【問 18】問 14 で「 1 避難した」とお答えいただいた方にお尋ねします。避難する際に困ったことがありましたか。（ 印は 1 つだけ）

- 1 道がわかりにくかった
- 2 段差が多かった
- 3 道幅が狭かった
- 4 倒れた建物などで道がふさがっていた
- 5 避難する人（車）が殺到して避難にかなり時間がかかった
- 6 その他（具体的に



避難時に困ったことについて、最も多かった点は、「避難する人（車）が殺到して時間がかかった」する方が約 18% を占めています。

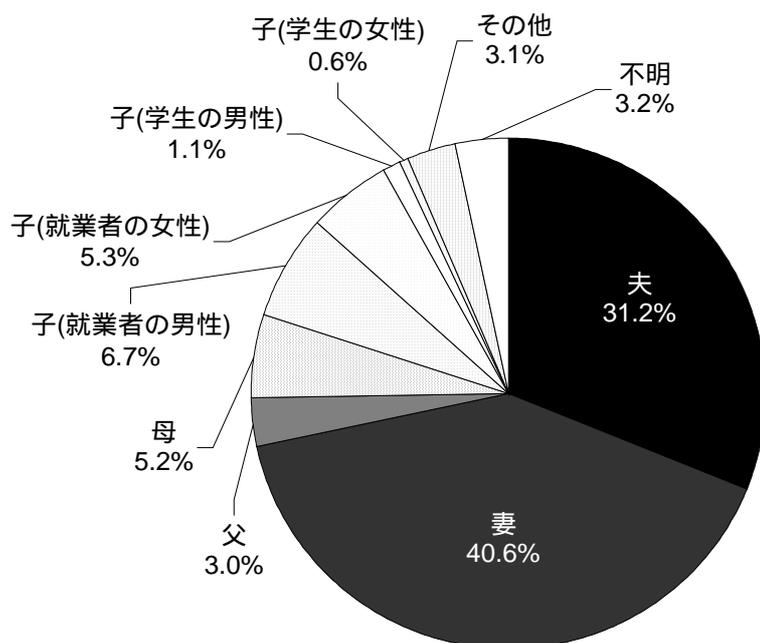
次いで、「段差が多かった」ことを挙げている方が約 14% と、回答者に高齢者が多かったことを反映した結果となっています。

4. 地震発生時の家族（主な一人）の避難について

問 19 記述する家族の続柄

【問 19】ご記入のご家族の方は、どなたに該当しますか。（ 印は1つだけ）

- | | | | | |
|-------------|------------|------------|-----|-------------|
| 1 夫 | 2 妻 | 3 父 | 4 母 | 5 子（就業者の男性） |
| 6 子（就業者の女性） | 7 子（学生の男性） | 8 子（学生の女性） | | |
| 9 その他（具体的に |) | | | |

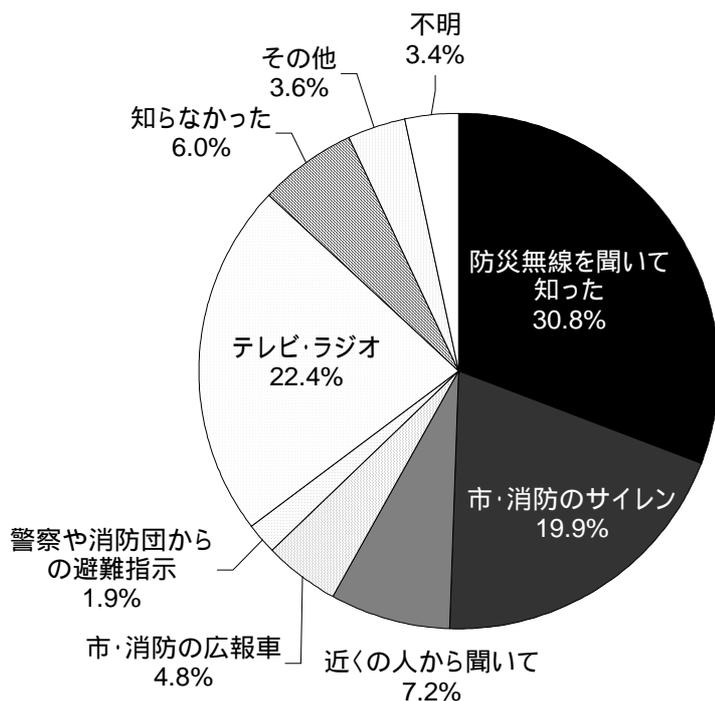


ご家族の中で、塩竈市内におられた方の避難行動等をお尋ねした問いに対して、ご自分の妻あるいは夫のことについて回答を頂きました。

問 21 家族は大津波警報を何で知ったか

【問 21】ご家族の方は大津波警報を何で知りましたか。(印は1つだけ)

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 1 防災無線を聞いて知った | 2 市・消防のサイレンが鳴って知った |
| 3 近くの人から聞いて知った | 4 市・消防の広報車で知った |
| 5 警察や消防団からの避難指示を聞いて知った | |
| 6 テレビ・ラジオで知った | 7 大津波警報を知らなかった |
| 8 その他(具体的に |) |

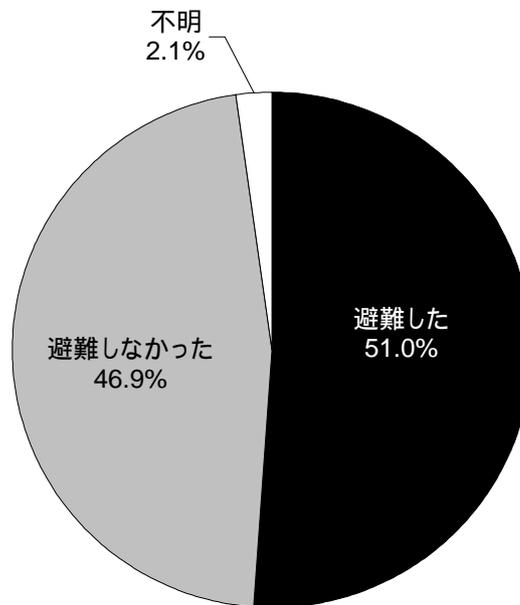


大津波警報を知ったのは、「防災無線を聞いて知った」とする方が約31%と最も多く、次いで「テレビ・ラジオで知った」とする方が約22%となっており、「市・消防のサイレンが鳴って知った」とする方の約20%を上回っています。

問 22 家族は避難したか

【問 22】ご家族の方は避難されましたか。（印は1つだけ）

1 避難した 2 避難しなかった

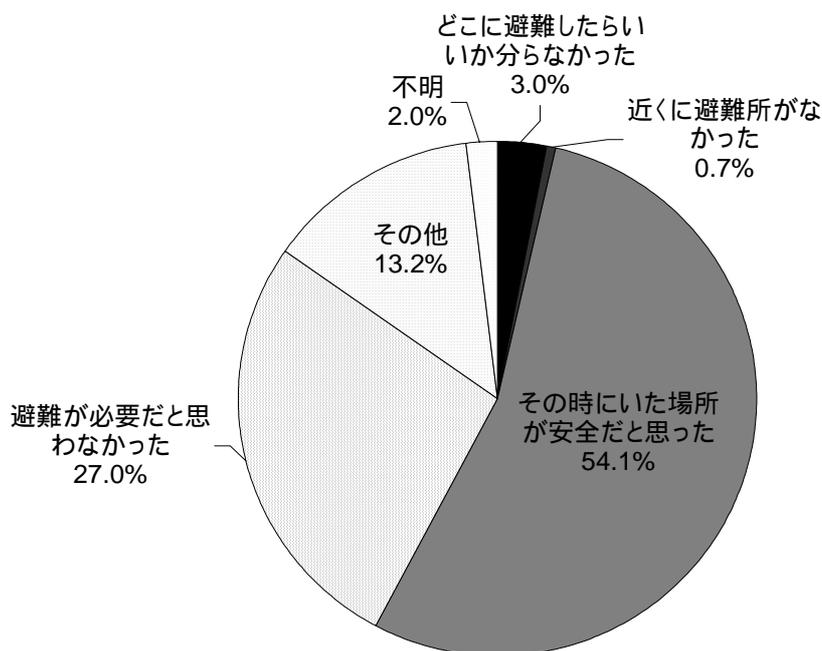


ご家族の方についても、世帯主ご本人と同様に、「避難した」とする方が過半数の約51%を占めていますが、「避難しなかった」とする方も約47%おられました。

問 23 家族が避難しなかった理由

【問 23】問 22 でご家族の方が「2 避難しなかった」とお答えいただいた方にお尋ねします。避難しなかった理由を教えてください。(印は1つだけ)

- 1 どこに避難したらよいかわからなかったから
- 2 近くに避難場所がなかったから
- 3 その時にいた場所が安全だと考えたから
- 4 避難が必要だとは思わなかったから
- 5 その他(具体的に)

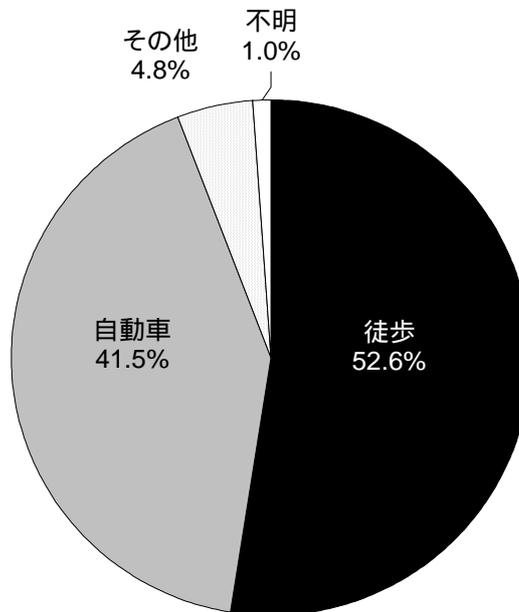


避難しなかった理由としては、「その時にいた場所が安全だと思った」とする方が過半数の約54%と最も多く、次いで、「避難が必要だと思わなかった」とする方が約27%となっています。

問 24 家族の避難時の移動手段

【問 24】問 22 でご家族の方が「 1 避難した」とお答えいただいた方にお尋ねします。ご家族の方の最初の避難の移動手段は何ですか(印は 1 つだけ)

1 徒歩 2 自動車 3 その他(具体的に)

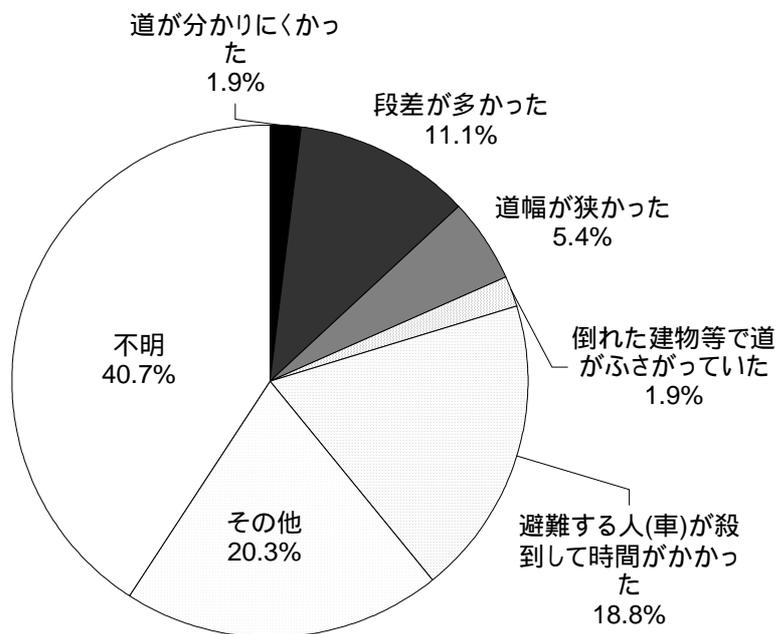


避難された方の避難手段は、「徒歩」約 53%が、「自動車」約 42%を上回っています。

問 26 家族が避難時に困ったこと

【問 26】問 22 でご家族の方が「 1 避難した」とお答えいただいた方にお尋ねします。避難する際に困ったことがありましたか。（ 印は 1 つだけ）

- 1 道がわかりにくかった
- 2 段差が多かった
- 3 道幅が狭かった
- 4 倒れた建物などで道がふさがっていた
- 5 避難する人（車）が殺到して避難にかなり時間がかかった
- 6 その他（具体的に



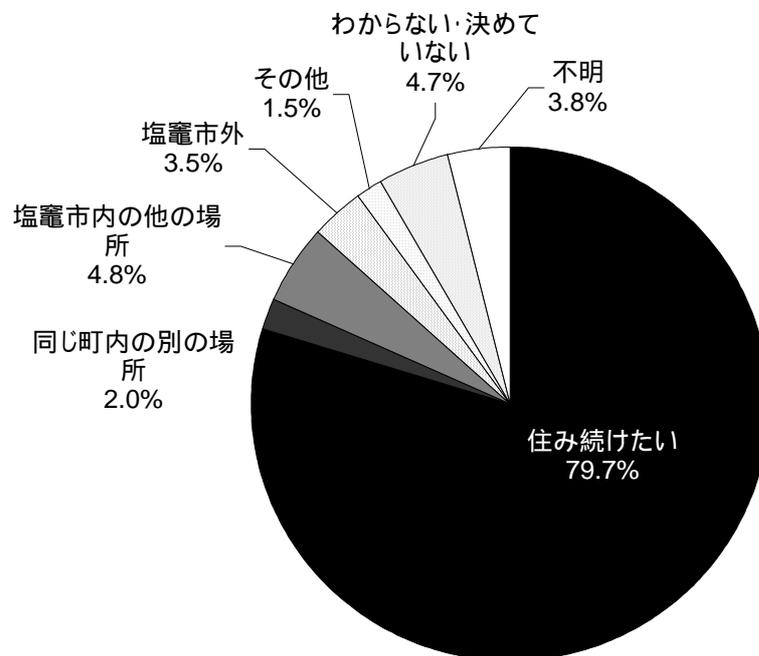
避難された方が避難時に困った点は、「避難する人（車）が殺到して時間がかかった」ことを挙げられた方が最も多く約 19% を占め、次いで、「段差が多かった」点を挙げられた方が約 11% と続いています。

5. 今後の住まいについて

問 27 今後の居住意思

【問 27】 今後のお住まいの場所についてお伺いします。（ 印は1つだけ）

- 1 震災前の場所（自宅）に住み続けたい
- 2 震災前と同じ町内の別の場所に住みたい
- 3 塩竈市内の他の場所へ移転したい
- 4 塩竈市外へ移転したい
- 5 その他（具体的に
- 6 わからない・決めていない

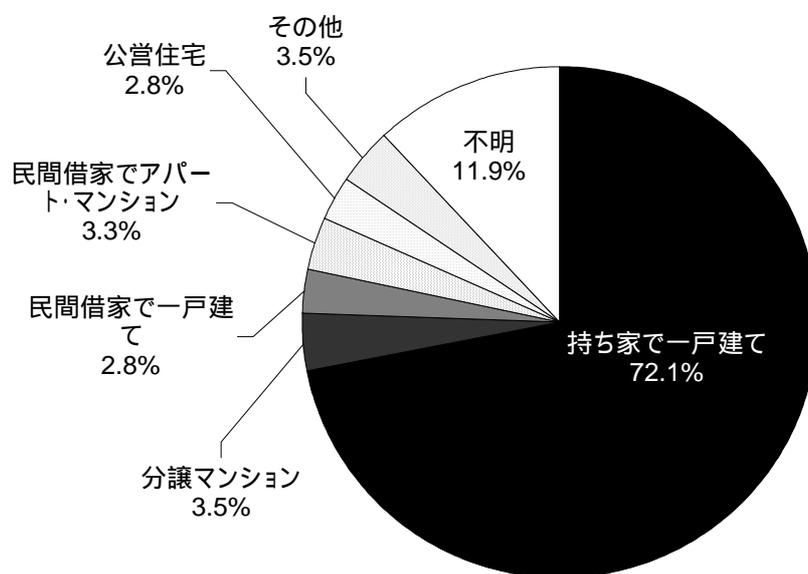


震災で被災された世帯の今後の住まいに対する考えについては、「震災前の場所（自宅）に住み続けたい」と考えておられる世帯が約80%と、大部分を占めており、「塩竈市外へ移転したい」と考えておられる世帯は約4%にとどまっています。

問 28 今後の希望する住居形態

【問 28】 今後のお住まいの希望についてお伺いします。（ 印は 1 つだけ ）

- 1 持ち家で一戸建て
- 2 分譲マンション
- 3 民間借家で一戸建て
- 4 民間借家でアパート・賃貸マンション
- 5 公営住宅
- 6 その他（具体的に



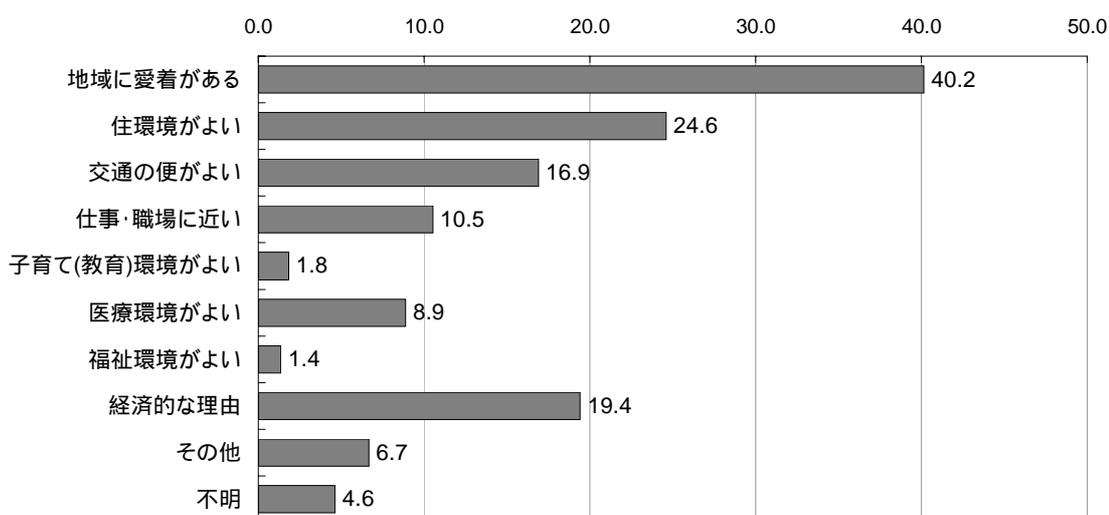
今後の住まいの希望については、「持ち家で一戸建て」を希望される方が圧倒的に多く、回答者全体の約 72% を占めています。

公営住宅を希望されている世帯は、約 3% となっています。

問 31 住み続ける理由

【問 31】問 27 で「 1 震災前の場所に住み続けるつもり」とお答えいただいた方にお尋ねします。住み続けるとお答えになった理由を教えてください。

- | | |
|------------------|--------------|
| 1 地域に愛着があるから | 2 住環境がよいから |
| 3 交通の便がよいから | 4 仕事・職場に近いから |
| 5 子育て(教育)環境がよいから | 6 医療環境がよいから |
| 7 福祉環境がよいから | 8 経済的な理由から |
| 9 その他() | |



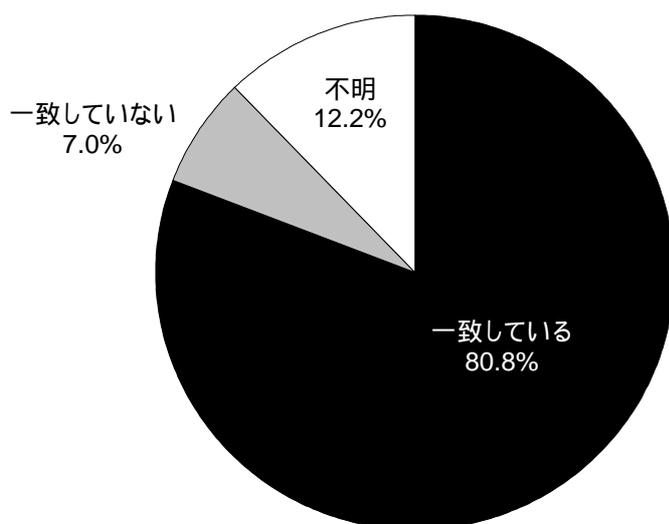
今後も震災前の場所に住み続けたいと回答された方の理由については、「地域に愛着がある」とする理由が最も多く、約 40%の方が回答されており、他の理由より大きな差があります。

他の理由としては、「住環境がよいから」とする方が約 25%、「経済的な理由から」とする方が約 19%、「交通の便がよいから」とする方が約 17%と続いています。

問 32 今後についての家族の意思統一の有無

【問 32】 今後のお住まいについて、ご家族の考えは一致していますか。

- 1 一致している
- 2 一致していない

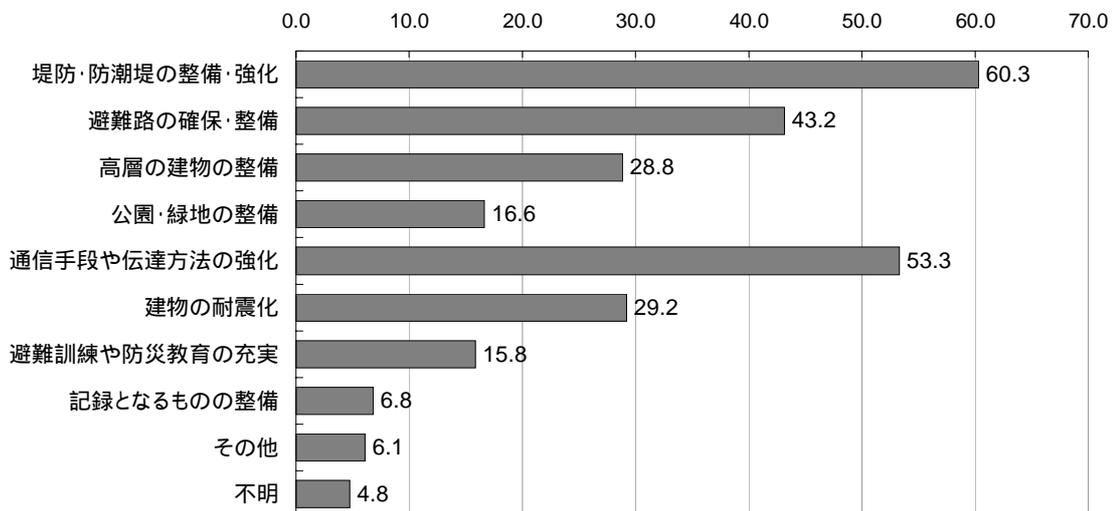


今後の住まいについて、大部分の回答者の方が、ご家族の考えが「一致している」とされ、回答者全体の約81%を占めています。
逆に、「一致していない」とされた回答者の方は、約7%にとどまっています。

問 33 今後必要な防災対策（複数回答）

【問 33】今後、塩竈市を災害に強いまちとするため、どのような防災対策が重要だとお考えですか。特に必要なもの3つに 印をつけてください。

- 1 浸水を防ぐ堤防・防潮堤の整備・強化
- 2 非常時に迅速に避難できる避難路の確保・整備
- 3 津波から避難できる高さがある高層の建物の整備
- 4 防災拠点になる公園・緑地の整備
- 5 震災情報や避難情報の通信手段や伝達方法の強化
- 6 建物の耐震化
- 7 避難訓練や防災教育の充実
- 8 震災の伝承やモニメントの設置など記録となるものの整備
- 9 その他（具体的に



今後必要な防災対策については、3つの点が特に重要だとの回答が挙げられています。最も多い回答は「浸水を防ぐ堤防・防潮堤の整備・強化」が約60%、「震災情報や避難情報の通信手段や伝達方法の強化」が約53%、「非常時に迅速に避難できる避難路の確保・整備」が約43%となっています。

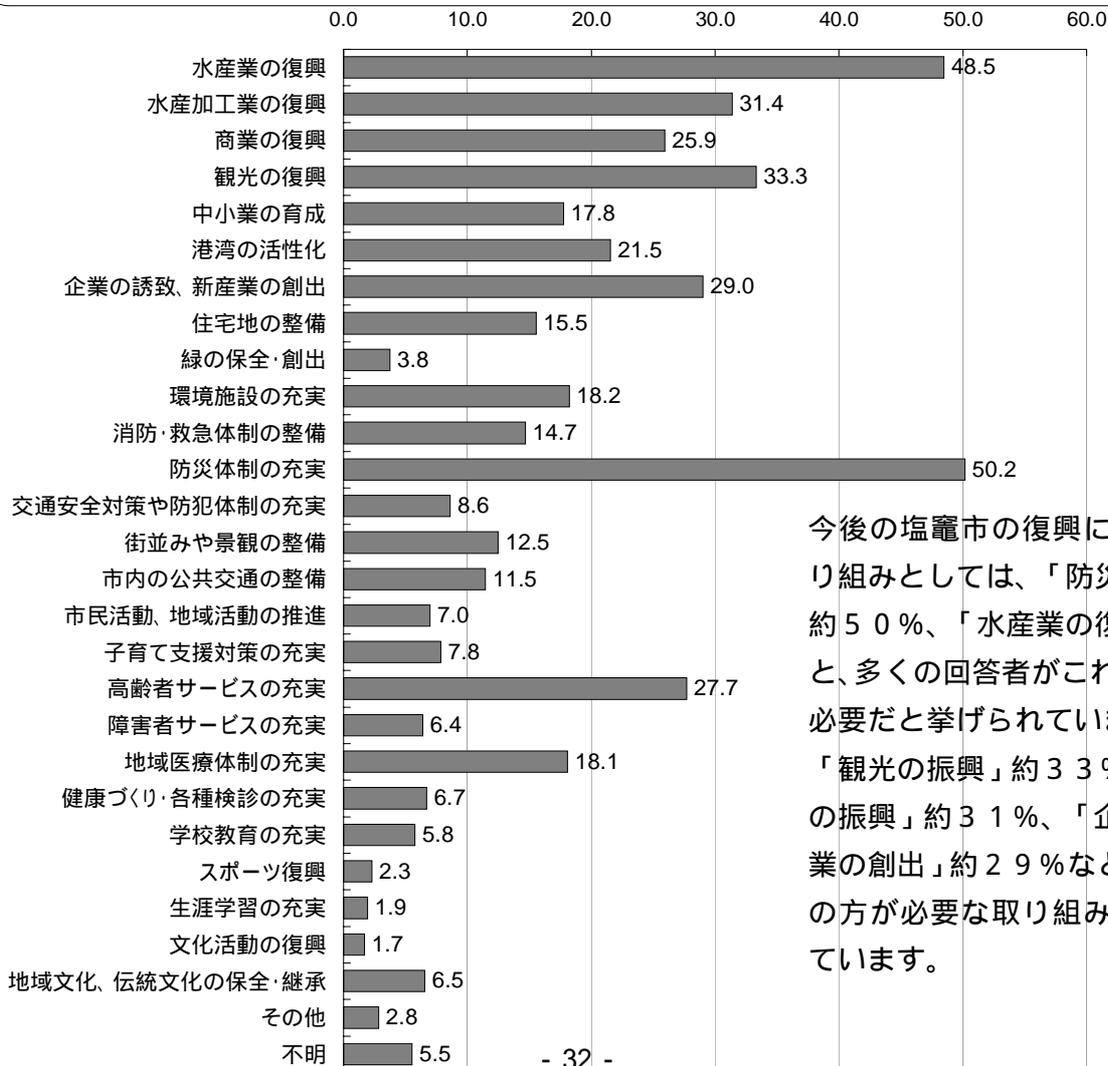
「建物の耐震化」約29%と「津波から避難できる高さがある高層の建物の整備」約29%についても、比較的多くの回答があります。

6. 今後の市の復興に向けた取り組みについて

問 34 復興に向けて必要な取り組み

【問 34】今後の塩竈市の復興に向けて、塩竈市を住み続けられるまちとするため、どのような取り組みが重要だとお考えですか。主なもの5つ以内に 印をつけてください。

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1 水産業の振興 | 2 水産加工業の振興 |
| 3 商業の振興 | 4 観光の振興 |
| 5 中小企業の育成 | 6 港湾の活性化 |
| 7 企業の誘致、新産業の創出 | 8 住宅地の整備 |
| 9 緑の保全・創出 | 10 自然エネルギーの導入など環境施策の充実 |
| 11 消防・救急体制の整備 | 12 地震や水害に対する防災体制の充実 |
| 13 交通安全対策や防犯体制の充実 | 14 街並みや景観の整備 |
| 15 市内の公共交通（バス）の整備 | 16 市民活動、地域活動の推進 |
| 7 子育て支援対策の充実 | 18 高齢者サービスの充実 |
| 19 障害者サービスの充実 | 20 地域医療体制の充実 |
| 21 健康づくり・各種検診の充実 | 22 学校教育の充実 |
| 23 スポーツ振興 | 24 生涯学習の充実 |
| 25 文化活動の振興 | 26 地域文化、伝統文化の保全・継承 |
| 27 その他（具体的に |) |



今後の塩竈市の復興に向けて必要な取り組みとしては、「防災体制の充実」が約50%、「水産業の復興」が約49%と、多くの回答者がこれらの取り組みが必要だと挙げられています。

「観光の振興」約33%、「水産加工業の振興」約31%、「企業の誘致、新産業の創出」約29%なども、比較的多くの方が必要な取り組みとして挙げられています。